

JOYJOBとの出会い。

どうして新潟大学に入ろうと思いましたが? (福野)

昔から同じところにいるというより、変化があるのが好きで、地元を離れることで、色んな変化があると思ったのが新潟大学を志望した理由です。また新潟大学は総合大学でもあるので、いろんな学部の仲間もできるんじゃないかなと思って志望しました。

大学4年間で振り返ってぱっと頭に浮ぶシーンってありますか? (泉)

僕は本当にJOYJOBというサークルに出会ったことがすべてというか、一番にここでの活動が大きかった。

JOYJOBに加入したきっかけは何か? (泉)

教育学部なので周りが先生になろうと決めている人が多いからこそ、違う世界を

見てみたかった。また学生であるにもかかわらず、名刺が持てることで、ちょっとした社会人にもなれた。自分の居場所ってうほど大げさじゃないんですけど、やりがいがあるなと思って加入しました。

動くからこそ 得られるものがある。

JOYJOBを一言で言えばどういうサークルですか? (泉)

社会人の方々と出会えたり学べるサークル、学外でも勉強できる関係の場だったのかな。

セミナーの講師の方ってどのよう にブックイングしてくるんですか? (福野)

1枚の新聞記事だったり、あるイベントに参加することで社会人と知り合いになり、それがきっかけやその人からの紹介だったりするけど、アポイントをとろうとしてもなかなかとれない。とれないというカス

ルーされてしまう時もあるし、でもその中で社会人の方々からメールの送り方や依頼は、メール1本じゃなくて手紙を書いたりとか電話をしたりしてするんだよというのを教わりましたね。

行動力ですか。自分の売りというか。 (泉)

フットワークの軽さはすごくあると思う。面白いと思ったものにすぐ飛び込んでいける力はあるのかな。つまらないことでも「じゃあ行ってみようかな」とか。部屋にいてくたぐたぐしていても何も起こらなくて…でもやっぱり動くぶん、いやだなと思うことも多いんですけど、そこでよかったなと思えることが一つでもあればいいのかなと。

いやなことでも行くことあるんですか。 (福野)

そんなことは多々あるよ。やだな、やだなとか、面倒だなと思って行くんだけど、でも何かそこでいいことが一つでもあったりすると、時間をかけてよかったなって思えるから。

JOYJOBから得たものは。 (福野)

やっぱり自分は人が好きで、人と出会って、人から刺激をもらうことが好きなんだとわかったことです。学生ながら社会で働く楽しさを少しでも垣間見れたのはよかったし、社会人の方々と話していただく元気をもらえたこともよかった。

“やりたいことをやる”ことが 自分の糧になる。

最後に1年生、2年生にメッセージをお願いします。 (泉)

動くにしても、だらだら過ごすにしても、

学生生活しかこんなにゆとりのある時間はないので、本当に無駄だと思えることをたくさんやっていいんじゃないかと思うし、時間を気にせず自分の好きなこと、やりたいことに没頭すればいいんじゃないかな。あとから振り返った時にたぶん無駄だったなんてことはなくて、それが生きてくることが何かしらあると思うので。人に流されずやりたいことをやってほしい。

人に流されない人ですか。 (福野)

いや、巻き込まれていますけど。巻き込まれつつも(笑)



学生Interview!! 自分の居場所

このコーナーでは、新大で今輝いている学生に取材をして、その考え方や素顔に迫っていきます!

第1回目は、学生ながら社会人とともに幅広くキャリアを考える活動を行う“輝人(キラット)”です☆

※輝人=新大広報編集学生が考える「輝いている人」のこと

教育人間科学部4年生

佐藤智徳 (サウトモノリ)

岩手県出身。若者就労支援団体 JOYJOB現代表。

JOYJOBではキャリア意識形成のためのセミナー等の企画・運営中。

●JOYJOBのホームページ

<http://www.shigotokan.com/joyjob/index.html>

大学生活の 思い出 ベスト3

第1位

JOYJOBでは、本当にセミナーでは人が来なかった時もありますし、困難もありました。セミナーにしても、どんなテーマなら参加者が来るの!?とメンバーで色々議論してやっても、上手くいかないことも。企業取材に行っても、なかなか質問が続かなかったり、勉強不足でテンポの悪い取材になったことも何度もあります。でも上手くいかない時ほど、色々な社会人にアドバイスをもらった気がします。多くの人に会って、手元にある名刺が自分の活動してきた証拠かなと思います。

第3位

ゼミに入ったことで、教授に鍛えられたというか、すごく衝撃的でした。同じ学年4人の中では、1番叱られていますからね。自分が怠けているのを見透かされています。

第2位

2年生から3年生の春にシンガポールの短期留学に行かせてもらったこともすごくよかった。学部も学年もさまざままで講義で会う友だちとは違っていました。帰ってきてからもそこで共に過ごした時間は大切なものです。濃いつながりだったのかなあ。